

## さいたま市民医療センターにてご加療中の方へ

ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV) と好酸球性中耳炎 (EOM) は比較的新しい疾患概念であり、難治性の中耳炎として知られています。本研究は全国から OMAAV と EOM 患者の症状や検査、治療に関するデータを収集し、調査に協力します。蓄積されたデータを分析することで、難聴診療の新たな知見が得られると考えられ、これによって、適切な診療指針の策定や患者の QOL 向上に貢献することが期待されます。

**【研究課題】** オールジャパン全国調査による難治性中耳炎 (OMAAV および好酸球性中耳炎) の実態と治療成績の検討 Japanese EOM-OMAAV Cohort Study (JEOC)

**【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】**

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 富山大学附属病院

研究責任者 富山大学附属病院 耳鼻咽喉科頭頸部外科学 教授 森田由香  
さいたま市民医療センター 耳鼻咽喉科 科長 江洲 欣彦

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

**【研究期間】**

倫理委員会の許可後～ 2028 年 12 月 31 日まで

**【対象となる方】**

2015 年 1 月 1 日以降に通院または入院した OMAAV 患者と 2011 年 1 月 1 日以降に通院または入院した EOM 患者が研究の対象となります。

**【研究の意義】**

ANCA 関連血管炎性中耳炎 (OMAAV) と好酸球性中耳炎 (EOM) は比較的新しい疾患概念であり、難治性の中耳炎としてとしての適切な診療指針の策定のためのデータ収集。

**【研究の目的】**

本研究では全国から OMAAV と EOM 患者の症状や検査、治療に関するデータを収集し、調査します。これによって、適切な診療指針の策定や患者の QOL 向上に貢献することが期待されます。

**【研究の方法】**

この研究は、さいたま市民医療センターの倫理委員会の承認を受け実施するものです。通常の診療の範囲内で、聴こえの改善を評価します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

**【個人情報の保護】**

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

得られたデータは個人情報情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、パスワードのかかる記録媒体に保存します。また、記録媒体は鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。得られたデータは希望に応じて、対象となった方に供覧することも可能です。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先まで 2028年12月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または下記の問い合わせ先へお尋ねください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。  
尚、あなたへの謝金はございません。

2026年5月

**【問い合わせ先】**

さいたま市民医療センター 耳鼻咽喉科  
住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1  
電話：048-626-0011